

令和2年度 岩塚小学校学校評価について

区分	評価目標	重点的な手だて	自己評価	改善に向けての方策	評議員の意見
1 学 習 指 導	① 基礎・基本を定着させ、それを活用することができるようにする	<ul style="list-style-type: none"> 学習習慣の確立を図る。 復習に取り組み、学力の定着を図る。 	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「ぐう・ぺた・ぴん」を合い言葉に、姿勢を正して話を聞くことを意識させることができている。 ● 集中力が持続せず、声掛けが必要な児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 支援を必要としている児童については、保護者と相談しながら支援方法を工夫したい。 	
	② 自分の考えをもち、互いに伝え合うことができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> 授業の中で話し合いの場を設定し、意見の交流をする。 	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市教委が作成した「なかまなビジョン」を基に、机の並べ方を工夫したり、伝える内容を準備させたりしたことで、話し合いを取り入れた授業に取り組んだ。 ● コロナ禍で、活動に制限があり、昨年度に比べて話し合いの場を充実させることができなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍の中でも話し合いや意見交流ができるように、話し合いのルールや座席配置などを工夫して取り組みたい。 	
	③ 自分の健康・安全について、子ども一人一人が考え、生活することができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> 保健指導や食育指導を充実させる。 	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 栄養教諭との連携を図り、1年と6年で栄養指導を行った。 ○ コロナ禍であり、社会情勢を踏まえて、マスクの着用や手洗いなど健康管理について考えることができた。 ● 身体測定の際には、測定だけでなく健康に関わる指導を十分に行うことができなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の身長や体重の伸びを確認させることで、成長に気付かせる。 年間を通して全学年の食育指導を行いたい。 	
2 児 童	① 学校のルールを守って、きまり正しい生活することができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> 「岩塚小学校 みんなのきまり」などを生かし、学校のルールの徹底を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の様子をとらえ、一人一人に学校生活のルールを指導することを心掛けた。 ● 自分本意で行動をし、友達を困らせてしてしまう児童がおり、その都度指導した。 	<ul style="list-style-type: none"> 誰もが安心安全に生活できるよう、ルールの遵守を週目標の指導やポスターの掲示などを通して徹底させたい。 	

指 導		<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣の定着を図る。 	B		<ul style="list-style-type: none"> 学校の取り組みを学校だより等で積極的に発信し、理解と協力を求めたい。 	
	② 自他のよさを知り、互いに尊重することができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人が活躍できる学校行事・学級活動を工夫する。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○ 異学年児童が交流できるようペア学年によるグループを編制し、活動に取り組んだ。「ペア縄跳び」や「ペア大縄大会」などで、活動することができた。 ○ 運動会では、コロナ禍である中、例年とはやり方を変更したが、児童に適切な指導を行い、児童にとって満足感を得られるものにする事ができた。 ○ 係活動や委員会活動の場で、他の人のためになるという思いをもたせる活動ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 本年度はペアグループでの活動中心であった。上級生、特に6年生が全校児童の前で活躍する場を設定したい。 	
		<ul style="list-style-type: none"> 誰もが楽しく学校生活を送れるよう、教育相談や支援に取り組む。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○ 6月の学校再開後、月1回「心とからだのチェックリスト」の取り組みや、年2回の教育相談や学校生活アンケートを通して、一人一人の児童の様子をとらえ、指導・助言をすることができた。 ○ 必要に応じて保護者と相談したり、子ども応援委員会・カウンセラー・児童相談所と連携・相談したりした。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの様子にさらに目配りし、教師側から児童へ積極的に声掛けする。 子ども応援委員会や児童相談所と積極的に連携・相談していきたい。 	
3 安 心 ・ 安 全 な 学 校	① 防犯・防災について知識をもち、安全に生活しようとする。	<ul style="list-style-type: none"> 防犯・防災に備える。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防犯教室を開き、不審者対応やサイバー犯罪への注意喚起を行った。 ○ 避難訓練で、地震や火災だけでなく津波を想定した訓練も計画的に行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが「自分の命は自分で守る」という防犯・防災に対する意識を高められるように指導していきたい。 	
		<ul style="list-style-type: none"> 事件・事故に的確に対応する。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事件・事故が起きた際、原因を明らかにし、繰り返されないように教職員で共通理解し、子どもへの指導をすることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 些細なことを見逃すことなく、危機管理の意識をもって、指導していきたい。 	
4 保 護 者 や	① 地域の人と、親しみをもって、安全に生活することができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶運動を推進する。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童会の活動として、毎日挨拶運動をすることができ、挨拶に対する意識を高めることができた。 ● マスクをしているため、挨拶が聞こえにくい、声に元気や明るさがない。 	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶活動を継続し、進んで挨拶できる子どもを育てていきたい。 	

地域との協働				<ul style="list-style-type: none"> ● 毎月1回進んで挨拶することを週目標にしているが、十分できてはいない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍の中でも明るい表情で挨拶することの大切さを道徳や学活、日常の中で粘り強く指導していく。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の方の協力を得ながら安全な登下校ができるよう指導する。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○ P T A、地域の方に交通安全や見守り活動によって、子どもたちが安全に登下校することができた。 ○ 「分団カード」を用いて、子どもたち自身が登校の様子を振り返ることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通安全の意識を強くもたせるとともに子どもたちが地域の方々に感謝する気持ちを育てたい。 	
	② 地域の特色を知り、地域の一員としての意識をもつことができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の「自然・人・文化」の教材化を図り、それを活用する。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の方を講師に、田植えはできなかったが、稲刈りに取り組むことができた。 ○ 総合的な学習を中心に、地域に伝わる祭りについて、学ぶ機会をもった。 ○ 本年度開校85周年を迎え、本校の歴史を学ぶことができた。また、P T Aから記念品が配付された。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域学習を通して、地域の一員としての意識を高めさせる。 3年…きねこさ祭り 5年…米作り 6年…学校の歴史 等 	
5 開かれた学校	① 学校教育の様子を分かりやすく伝えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者に、学校生活を参観する機会を適切に設ける。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○ コロナ禍であるものの、感染対策を適切に行ったり、取り組みの工夫を工夫したりして、学校行事や授業参観の機会を設けることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度は年1回となくなってしまった授業参観の開催方法を、廊下からの参観や学年を2つに分けて別日に開催するなど工夫し、年4回行う予定。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種たよりを定期的に発行する。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学年だよりで・学校だよりを定期的に発行し、行事の予定や学校行事の様子を伝えることができた。 ● ホームページの定期的な更新ができず、十分に活用ができなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種たよりやホームページを有効的に使い、取り組みを知らせていきたい。 ・ 今後、I C Tを活用した伝達方法の整備を進める方向である。 	